



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東 札

上場会社名 雪印メグミルク株式会社

コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西尾 啓治

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 佐瀬 修

TEL 03-3226-2124

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	290,624	5.0	7,591	48.3	7,278	30.2	11,760	411.8
27年3月期第2四半期	276,831	0.4	5,120	△24.9	5,589	△19.9	2,297	△42.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 11,690百万円 (246.9%) 27年3月期第2四半期 3,369百万円 (△17.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	173.35	—
27年3月期第2四半期	33.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	357,582	131,856	36.2	1,909.68
27年3月期	345,597	122,209	34.7	1,767.71

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 129,552百万円 27年3月期 119,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	565,000	2.8	12,000	27.9	12,000	14.9	14,000	256.1	206.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	70,751,855 株	27年3月期	70,751,855 株
28年3月期2Q	2,911,794 株	27年3月期	2,908,870 株
28年3月期2Q	67,841,655 株	27年3月期2Q	67,846,548 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）
四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。
当社は、平成27年11月6日（金）にアナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続しておりますが、一部に弱さも見られます。

個人消費は総じて底堅い動きとなっており、食品業界においても、昨年来の円安による原材料価格の高騰に伴い、値上げが相次ぐなど物価が上昇する中でも、消費支出は堅調に推移しています。

このような経営環境下、当期においては、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成26年度～平成28年度）」に基づき、需要の拡大と競争力の強化に取り組み、チーズやヨーグルトなどの主力商品の拡売、生産性の向上によるローコストオペレーションの実現ならびに販売価格の見直しによるコストアップへの対応等により収益向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は290,624百万円（前年同期比105.0%）、営業利益は7,591百万円（前年同期比148.3%）、経常利益は7,278百万円（前年同期比130.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9月に「旧関西チーズ工場」および「旧横浜チーズ工場」の売却による特別利益を計上したため11,760百万円（前年同期比511.8%）となりました。

なお、平成27年9月24日開催の取締役会において、タイ市場からの育児用粉乳事業撤退を決定しております。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高および営業利益につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品事業

当事業には、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は108,440百万円（前年同期比107.3%）、営業利益は4,454百万円（前年同期比123.6%）となりました。

売上高は、販売価格の見直し後も販売物量が堅調に推移したこと、プロセスチーズの販売が前年を上回ったことなどから、当事業全体では増収となりました。

営業利益は、前年からの円安や乳価改定などの原材料価格上昇の影響があったものの、販売価格の見直しなどの収益改善策により増益となりました。

② 飲料・デザート類事業

当事業には、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は139,195百万円（前年同期比104.1%）、営業利益は1,163百万円（前年同期は営業損失79百万円）となりました。

売上高は、販売価格の見直しを行った中で、飲料は販売物量が減少しましたが、ヨーグルトはガセリ菌SP株関連商品への訴求に重点的に取り組んだことによりカテゴリー全体が大きく伸長したこと、デザートは新商品およびリニューアル品が牽引したことなどから、当事業全体では増収となりました。

営業利益は、乳価改定などの原材料価格上昇の影響があったものの、ヨーグルトやデザートの売上が伸長したこと、販売価格の見直しなどの収益改善策が寄与したことなどから、大幅な増益となり黒字化しました。

③ 飼料・種苗事業

当事業には、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は24,470百万円（前年同期比98.4%）、営業利益は1,043百万円（前年同期比92.7%）となりました。

当期は、配合飼料の販売物量が減少したことや、販売競争の激化による販売費用の増加により減収減益となりました。

④ その他事業

当事業には、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。売上高は18,518百万円（前年同期比108.2%）、営業利益は868百万円（前年同期比189.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して11,984百万円の増加となりました。

これは主に、売却により土地が減少した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,337百万円の増加となりました。

これは主に、長期借入金が減少した一方で、未払法人税等や支払手形及び買掛金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して9,646百万円の増加となりました。

これは主に、土地再評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、20,159百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,274百万円の収入（前年同期は6,422百万円の収入）となりました。前年同期との比較では、主に税金等調整前四半期純利益の増加、関係会社事業損失引当金の増減額の増加、固定資産除売却損益の減少や売上債権の増減額の増加に加え法人税等の支払額又は還付額が減少したことなどにより、851百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,763百万円の収入（前年同期は18,029百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出の減少や有形及び無形固定資産の売却による収入が増加したことなどにより、28,793百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,065百万円の支出（前年同期は9,874百万円の収入）となりました。前年同期との比較では、主に短期借入金の純増減額の減少や長期借入れによる収入が減少したことなどにより、16,940百万円の支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月22日の「平成28年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更と区別する事が困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社では、建物以外の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間から、定額法に変更しております。

当社は、平成27年3月期において新規基幹工場である阿見工場および海老名工場が全面的に稼働開始し、それに伴う工場の統廃合によって、生産体制の最適化を達成しております。これを契機として、生産設備の稼働状況を確認したところ、今後、生産設備は、耐用年数にわたり安定的に稼働することが見込まれていることから、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法として定額法を採用することが、合理的な費用配分を可能にすると判断したことにより、減価償却方法の変更を行ったものであります。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が824百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が824百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,818	20,773
受取手形及び売掛金	64,926	75,463
有価証券	299	299
商品及び製品	33,479	35,020
仕掛品	758	1,204
原材料及び貯蔵品	14,712	12,936
繰延税金資産	3,505	3,909
その他	5,383	4,320
貸倒引当金	△529	△510
流動資産合計	132,354	153,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,474	46,416
機械装置及び運搬具（純額）	58,498	59,490
土地	58,382	50,304
その他（純額）	10,155	9,099
有形固定資産合計	173,510	165,310
無形固定資産	6,503	6,106
投資その他の資産		
投資有価証券	24,782	24,363
繰延税金資産	4,158	3,034
その他	6,025	6,175
貸倒引当金	△1,737	△827
投資その他の資産合計	33,228	32,746
固定資産合計	213,242	204,163
資産合計	345,597	357,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,145	59,303
短期借入金	39,947	41,286
未払法人税等	768	6,921
賞与引当金	3,390	4,323
その他	27,068	24,827
流動負債合計	128,320	136,661
固定負債		
長期借入金	68,780	62,799
繰延税金負債	967	971
再評価に係る繰延税金負債	6,207	4,277
役員退職慰労引当金	311	234
ギフト券引換引当金	227	221
関係会社事業損失引当金	—	1,726
退職給付に係る負債	8,490	8,228
資産除去債務	425	430
その他	9,657	10,175
固定負債合計	95,067	89,064
負債合計	223,388	225,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,580	17,580
利益剰余金	69,194	82,965
自己株式	△4,541	△4,546
株主資本合計	102,233	115,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,590	4,558
繰延ヘッジ損益	△79	△188
土地再評価差額金	12,904	8,858
為替換算調整勘定	567	508
退職給付に係る調整累計額	△290	△182
その他の包括利益累計額合計	17,693	13,553
非支配株主持分	2,282	2,303
純資産合計	122,209	131,856
負債純資産合計	345,597	357,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	276,831	290,624
売上原価	214,392	222,420
売上総利益	62,439	68,204
販売費及び一般管理費	57,319	60,613
営業利益	5,120	7,591
営業外収益		
受取利息	20	45
受取配当金	233	225
持分法による投資利益	5	87
為替差益	726	—
その他	379	409
営業外収益合計	1,366	768
営業外費用		
支払利息	458	476
為替差損	—	295
その他	437	309
営業外費用合計	896	1,080
経常利益	5,589	7,278
特別利益		
固定資産売却益	36	11,621
受取補償金	14	—
その他	8	258
特別利益合計	59	11,880
特別損失		
固定資産売却損	4	2
固定資産除却損	307	399
減損損失	139	242
工場再編損失	771	—
関係会社事業損失	—	911
その他	104	387
特別損失合計	1,328	1,942
税金等調整前四半期純利益	4,320	17,215
法人税等	1,963	5,435
四半期純利益	2,356	11,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,297	11,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	2,356	11,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	688	△44
繰延ヘッジ損益	46	△109
為替換算調整勘定	29	△59
退職給付に係る調整額	232	108
持分法適用会社に対する持分相当額	16	14
その他の包括利益合計	1,012	△89
四半期包括利益	3,369	11,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,307	11,666
非支配株主に係る四半期包括利益	62	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,320	17,215
減価償却費	7,101	6,879
減損損失	139	242
持分法による投資損益(△は益)	△5	△87
貸倒引当金の増減額(△は減少)	183	△929
賞与引当金の増減額(△は減少)	80	932
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△73	△261
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△7	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△41	△77
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	—	1,726
固定資産除売却損益(△は益)	275	△11,219
受取利息及び受取配当金	△254	△270
支払利息	458	476
売上債権の増減額(△は増加)	△5,969	△10,536
たな卸資産の増減額(△は増加)	787	△211
仕入債務の増減額(△は減少)	3,049	2,655
その他	△545	844
小計	9,500	7,373
利息及び配当金の受取額	346	357
利息の支払額	△453	△482
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,970	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,422	7,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39	△39
定期預金の払戻による収入	99	51
貸付けによる支出	△206	△179
貸付金の回収による収入	95	184
有形及び無形固定資産の取得による支出	△18,811	△9,378
有形及び無形固定資産の売却による収入	909	19,556
投資有価証券の取得による支出	△11	△135
投資有価証券の売却による収入	0	719
関係会社株式の取得による支出	△13	△1
その他	△53	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,029	10,763

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,133	△4,391
長期借入れによる収入	13,000	6,000
長期借入金の返済による支出	△5,657	△6,250
自己株式の取得による支出	△3	△5
配当金の支払額	△2,033	△2,033
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△562	△382
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,874	△7,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,725	10,971
現金及び現金同等物の期首残高	10,570	9,188
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,849	20,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	101,092	133,767	24,855	259,716	17,115	276,831	—	276,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,965	14	511	7,490	6,169	13,660	△13,660	—
計	108,057	133,782	25,367	267,207	23,284	290,492	△13,660	276,831
セグメント利益 又は損失(△)	3,602	△79	1,126	4,649	458	5,107	12	5,120

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	108,440	139,195	24,470	272,106	18,518	290,624	—	290,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,073	16	502	7,592	6,057	13,650	△13,650	—
計	115,513	139,212	24,972	279,698	24,576	304,274	△13,650	290,624
セグメント利益	4,454	1,163	1,043	6,661	868	7,529	61	7,591

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額61百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

4. 補足情報

(1) 前期比較

① 連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成27年 3月期	平成28年 3月期 第2四半期	増減		平成27年 3月期	平成28年 3月期 第2四半期	増減
(流動資産)	1,323	1,534	210	(流動負債)	1,283	1,366	83
現金及び預金	98	207	109	仕入債務	571	593	21
売上債権	649	754	105	短期借入金	399	412	13
たな卸資産	489	491	2	その他	312	360	48
繰延税金資産	35	39	4	(固定負債)	950	890	△60
その他	51	41	△10	長期借入金	687	627	△59
(固定資産)	2,132	2,041	△90	退職給付に係る負債	84	82	△2
有形固定資産	1,735	1,653	△82	その他	177	180	2
無形固定資産	65	61	△3	負債 合計	2,233	2,257	23
投資有価証券	247	243	△4	株主資本等	1,199	1,295	96
繰延税金資産	41	30	△11	非支配株主持分	22	23	0
その他	42	53	10	純資産 合計	1,222	1,318	96
資産 合計	3,455	3,575	119	負債・純資産 合計	3,455	3,575	119

② 連結損益計算書

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間		平成28年3月期 第2四半期 連結累計期間		増減金額	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	前期比
売 上 高	2,768	100.0%	2,906	100.0%	137	105.0%
売 上 原 価	2,143	77.4%	2,224	76.5%	80	103.7%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	573	20.7%	606	20.9%	32	105.7%
営 業 利 益	51	1.8%	75	2.6%	24	148.3%
営 業 外 収 益	13	0.5%	7	0.3%	△5	56.2%
営 業 外 費 用	8	0.3%	10	0.4%	1	120.5%
経 常 利 益	55	2.0%	72	2.5%	16	130.2%
特 別 利 益	0	0.0%	118	4.1%	118	19,866.5%
特 別 損 失	13	0.5%	19	0.7%	6	146.2%
税金等調整前四半期純利益	43	1.6%	172	5.9%	128	398.5%
法 人 税 等	19	0.7%	54	1.9%	34	276.8%
非支配株主に帰属する損益	0	0.0%	0	0.0%	△0	33.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	0.8%	117	4.0%	94	511.8%

③ 連結包括利益計算書

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成28年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減金額	
	実績	実績	実績	前期比
四半期純利益	23	117	94	499.8%
その他の包括利益合計	10	△0	△11	—
四半期包括利益	33	116	83	346.9%
(内、非支配株主に係る 四半期包括利益)	0	0	△0	37.7%

④ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成28年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減金額
	実績	実績	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	64	72	8
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△180	107	287
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	98	△70	△169
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	△0
V 現金及び現金同等物の増減額	△17	109	126
VI 現金及び現金同等物の期首残高	105	91	△13
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—	△0
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	88	201	113
(参考) フリー・キャッシュフロー(I+II)	△116	180	296

⑤ 連結セグメント別実績

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成28年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減	
	実績	実績	金額	前期比
〔売上高〕				
乳 製 品	1,010	1,084	73	107.3%
飲 料 ・ デ ザ ー ト 類	1,337	1,391	54	104.1%
飼 料 ・ 種 苗	248	244	△3	98.4%
そ の 他	171	185	14	108.2%
〔営業利益〕				
乳 製 品	36	44	8	123.6%
飲 料 ・ デ ザ ー ト 類	△0	11	12	—
飼 料 ・ 種 苗	11	10	△0	92.7%
そ の 他	4	8	4	189.3%

(注) 1. セグメント別の主な取扱商品類

乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等） 他

飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他

飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他

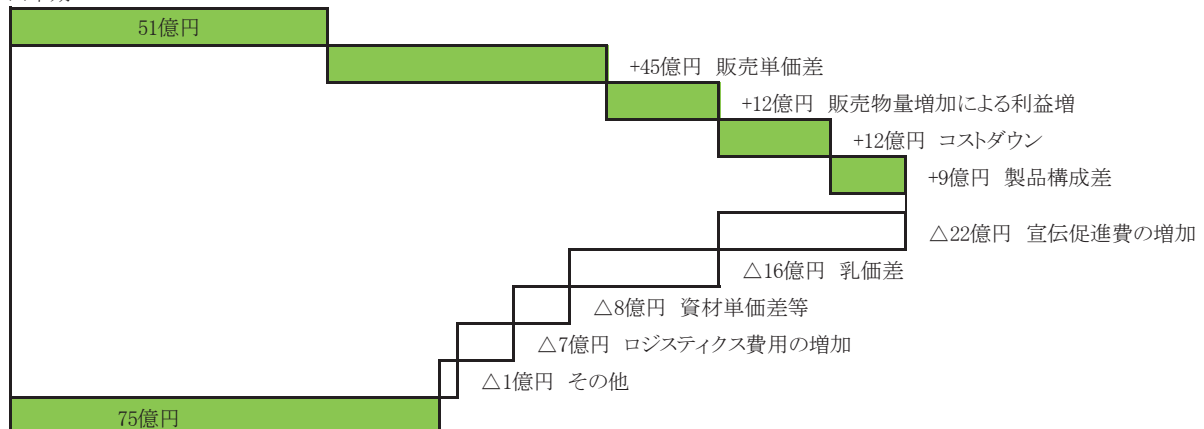
その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他

2. セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

なお、前期比についても外部顧客に対する金額の比較によります。

⑥ 連結営業利益の増減要因

H26年第2四半期



H27年第2四半期

⑦ 設備投資額（有形固定資産）及び減価償却費

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費※
前第2四半期連結累計期間	81	71
当第2四半期連結累計期間	66	68

※ 減価償却費は有形固定資産、無形固定資産（「のれん」を除く）および長期前払費用の償却費を加算したことになります。

⑧ 研究開発費 (単位：億円)

前第2四半期連結累計期間	18
当第2四半期連結累計期間	19

⑨ 従業員数

前第2四半期連結累計期間	4,969名
当第2四半期連結累計期間	4,860名

⑩ 経営数値

(単位：%)

	自己資本比率	連結売上高 営業利益率	連結ROA (対営業利益)	EBITDA マージン
前第2四半期連結累計期間	34.0	1.8	1.5	4.4
当第2四半期連結累計期間	36.2	2.6	2.1	5.0

(単位：億円)

	総資産	自己資本	有利子負債※
前第2四半期連結累計期間	3,400	1,155	1,075
当第2四半期連結累計期間	3,575	1,295	1,095

※ 有利子負債残高は借入金残高にリース債務残高を加算したのになります。

(2) 平成28年3月期連結業績予想との比較

連結経営成績

(単位：億円)

	平成28年3月期 第2四半期連結累計期間				増減金額	
	予想	売上比	実績	売上比	増減	予想比
売上高	2,900	100.0%	2,906	100.0%	6	100.2%
営業利益	75	2.6%	75	2.6%	0	101.2%
経常利益	70	2.4%	72	2.5%	2	104.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	115	4.0%	117	4.0%	2	102.3%

(注) 予想は平成27年10月22日に公表したものです。

(3) 業績予想

① 連結業績予想

(単位：億円)

	平成28年3月期 通期	
	予想	前期比
売上高	5,650	102.8%
営業利益	120	127.9%
経常利益	120	114.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	140	356.1%

(注) 平成27年10月22日に公表したものから変更はありません。

② セグメント別売上予想

(単位：億円)

	平成28年3月期 通期				増減額
	前回予想	前期比	今回予想	前期比	
乳製品	2,170	101.8%	2,210	103.7%	40
飲料・デザート類	2,600	101.8%	2,620	102.5%	20
飼料・種苗	490	103.2%	470	99.0%	△ 20
その他	340	100.7%	350	103.6%	10

(注) 1. セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

なお、前期比についても外部顧客に対する金額の比較によります。

2. 平成27年5月14日決算短信発表時に公表したものから、第2四半期までの業績の進捗をもとに、セグメント別売上高予想を修正しております。

(4) 単体部門別売上高

(単位：億円・%)

	平成27年3月期 第2四半期累計		平成28年3月期 第2四半期累計		増減金額
	実績	前期比	実績	前期比	
乳食品	590	99.3	609	103.1	18
(内 バター)	107	94.8	109	101.9	2
(内 チーズ)	328	102.9	344	104.8	15
油脂	69	101.3	70	102.2	1
市乳	1,033	95.2	1,067	103.3	34
(内 白物飲料)	419	98.6	430	102.5	10
(内 色物飲料)	257	88.2	239	93.2	△ 17
(内 はっ酵乳)	238	100.2	267	111.9	28
その他	10	102.5	10	98.3	0
合 計	1,704	96.8	1,758	103.2	54

(参考)平成28年3月期第2四半期シェア(家庭用)

バター 34.4%

チーズ 16.5%

油脂 34.5%

牛乳 7.4%

乳飲料 19.3%

はっ酵乳 11.9%

(当社調べ：乳食品・油脂：物量ベース、市乳：金額ベース)